



普及センターだより



令和5年度

No.2

発行所 香川県小豆農業改良普及センター

〒761-4301 小豆郡小豆島町池田2519-2 TEL:0879-75-0145 FAX:0879-75-2477
URL <https://www.pref.kagawa.lg.jp/shozu/nogyo/> E-mail shozunokai@pref.kagawa.lg.jp

シリーズ

小豆島の
多様な担い手

こだわりの野菜を食卓に届けたい

～小豆島町室生 土居 悠大 さん～



令和2年9月に小豆島町室生で就農された土居悠大さんは、ジャガイモやサツマイモを中心に複数品目の野菜を栽培されています。小さい頃から実家でオリーブの収穫や除草などの作業を手伝っていたため、農業が身近なところにありました。実際に農業を志し、農業で自分のブランドを作りたいと思うようになったのは、父の働く姿や、当時の人気漫画で、農業高校生が酪農を通じて成長した姿を描く「銀の匙」のストーリーに影響を受けたことがきっかけだそうです。学校卒業後は、社会勉強のため県外の民間企業で数年間働き、地元に戻ってからは、親と経営を分けて就農されています。

屋号は「いろは」で、「彩（いろどり）がある」、「風味や素材本来の味が口の中で広がる」、「野菜嫌いの子供にも食べてもらえる」という3つをコンセプトに、肥料や微生物を増やす土づくりなどにこだわって野菜を作られています。青果として販売するほか、加工品として“芋けんぴ”の販売も行っており、今後は他品目でも加工に挑戦していきたいそうです。

土居さんは、「野菜の栽培は天候の影響や、病気の発生などで、規格内の野菜を安定して作ることが難しいうえ、出来た野菜を売り切る難しさもある。それでも、お客様から『いろはの野菜は美味しい』『野菜嫌いの子供が野菜を食べられるようになった』と言ってもらえるのが大変うれしく、励みになる」とのこと。これからもインパクトのある野菜や味と栄養にこだわった野菜を安定して供給することが今後の課題。また、資材コストが上がっているため、島内の素材を使った肥料づくりも考えており、地域農業の活性化に貢献していきたいとのことでした。

普及センターでは、栽培技術や収量品質の向上など、現地の課題解決に向けた支援を行っています。地域農業を担う新しい担い手を積極的に応援します。

農作業中の

熱中症対策チェック

CHECK!!



☀️ 高温時の作業は避けましょう

一般的に70歳以上の方は、のどのかわきや気温の上昇を感じづらくなります。
日中の気温の高い時間帯は外して作業しましょう。

☀️ 単独作業は避けましょう

なるべく2人以上で作業し、時間を決めて声をかけあったり、異常がないか確認しあうように
しましょう。

☀️ 20分おきに休憩&水分補給しましょう

涼しい日陰などで作業着を脱ぎ、体温を下げましょう。
のどがかわいていなくても、20分おきに毎回コップ1～2杯以上を目安に水分補給しましょう。

脚立使用の際にはご注意を!

脚立での作業中に、下りる時や足を踏み外したことで重大事故が発生しています。
脚立から降りる際は、両手で体を支え、足元を見つつ、脚立に残した足に体重を
かけながらゆっくり下りましょう。



令和5年10月1日から消費税のインボイス制度が始まります！

- 課税事業者が消費税の仕入税控除を行うには、インボイス（適格請求書）が必要になります。なお、簡易課税事業者の場合は、インボイスは不要です。
- 免税事業者とインボイス制度の登録をしていない課税事業者は、インボイスを発行できません。

インボイス発行事業者になるには

10月1日からインボイス発行事業者となるには、9月30日までに税務署へ登録申請書を提出する必要があります。制度開始後であっても、登録希望日の15日前までに申請書を提出することで、登録を受けることができます。

委託販売等における特例（農協特例、卸売市場特例）

- ◆農協や卸売市場へ委託して販売する場合は、出荷者（生産者）から買い手に対してインボイスを発行する必要はありません。

インボイス制度開始後の経過措置

- ◆小規模事業者（生産者）に対する負担軽減措置（売り手に対する経過措置）
免税事業者がインボイス発行事業者として課税事業者になった場合、消費税納税額を売上税額の2割に軽減することができます。（令和8年9月末まで）
- ◆免税事業者等からの課税仕入れにかかる経過措置（買い手に対する経過措置）
制度開始後6年間は、免税事業者からの課税仕入れについて仕入税額相当額の一定割合の控除が可能です。



インボイス（適格請求書）の記載例

請求書

令和5年10月31日

〇〇〇〇 御中

〇〇〇〇農園
登録番号 T×××××

日付	品名	金額
10月8日	米 ※	50,000円
10月14日	野菜 ※	30,000円
10月20日	作業料	10,000円
合計		90,000円
消費税		7,400円

8%対象 80,000円 消費税 6,400円
10%対象 10,000円 消費税 1,000円

※は軽減税率対象

- 氏名又は名称及び適格請求書発行事業者の登録番号
 - 取引年月日
 - 取引内容
(軽減税率の対象品目である旨)
 - 税率ごとに区分して合計した対価の額(税抜又は税込)及び適用税率
 - 税率ごとに区分した消費税額
 - 請求書等受領者の氏名又は名称
- 赤字の部分が従来の区分記載請求書の記載事項に追加

受賞おめでとうございます



第44回香川県野菜立毛品評会表彰並びに第12回香川県園芸振興貢献表彰

令和5年7月11日に開催された「第44回香川県野菜立毛品評会表彰式並びに第12回香川県園芸振興貢献表彰式」において、小豆島からは2名の方が受賞されました。野菜立毛品評会では、ほ場での生育状況を評価する立毛点、作付面積等を経営点の合計得点から上位優秀者を表彰するもので、「なばな」と「アスパラガス」の部門での受賞です。また、香川県園芸振興貢献表彰では、産地発展に寄与し、指導的役割を担っている生産者を表彰するもので、小豆地域でのアスパラガス栽培の復活や蔬菜部会の発展、後継者育成、地域の相談役としての活動などが高く評価されました。

受賞区分	受賞者氏名	住所
立毛品評会（品目：なばな） 香川県農政水産部長賞	須藤 幸夫 様	土庄町
立毛品評会（品目：アスパラガス） 香川県農業協同組合経営管理委員会 会長賞	九野 賢輔 様	小豆島町
香川県園芸振興貢献表彰		



野菜栽培情報

8月から秋冬野菜の播種、植え付けが始まっています。安定した収穫を迎えるために、初期生育の確保に向けて基本的な対策を行いましょう！

- 日々、畝の土壤水分を確認して、乾燥する前に灌水します。
- 乾燥しやすいほ場では、マルチを設置すると土壤水分が安定します。
- 秋雨や台風対策として、事前にはほ場内に溝を切るなど排水対策を講じましょう。
- 基肥として速効性肥料を土壤に混和すると、約1ヶ月で肥効が切れ始めるので、追肥は肥効が途切れないように、少し早めに何回かに分けて施用しましょう。（中耕時や降雨前が効果的！）
- 「なばな」や「ブロッコリー」ではアブラムシ類やアオムシなどチョウ類、「たまねぎ」や「にんにく」ではアザミウマ類の防除は必須です。定期的に発生状況を確認しましょう。
- 病害は予防散布が基本です。雨前後や定期的な防除を心がけて下さい。また、大雨等で跳ねた土が野菜に付着した場合は、登録のある農薬で土を洗い流すように丁寧に散布して、病害の発生を防ぎましょう。

